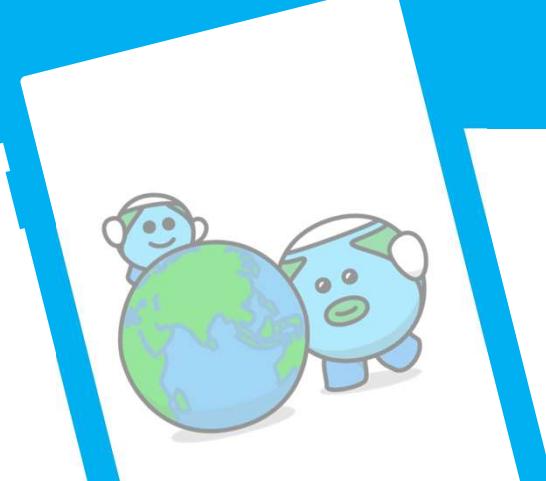


北米・アジア・欧州の プロダクトマネジメントの事例と スマートニュースの実践



SmartNews

スマートニュース株式会社
プロダクトマネージャー
宮田 善孝

Agenda

Section I

会社/自己紹介

Section II

北米・アジア・欧州の
プロダクトマネジメントの事例

Section III

スマートニュースの実践

Section I

会社/自己紹介



SmartNews

スマートニュースのミッション

MISSION

世界中の良質な情報を
必要な人に送り届ける

Delivering the world's quality information to
the people who need it.



スマートニュースのプロダクト



- ✓ カラフルなタブ区切りのUIが**特徴的**なニュースアグリゲーションアプリ
- ✓ 日本だけでなく**北米**含め、世界展開（一部除く）
- ✓ アプリを分けることなくワンプロダクトで配信

地球くんのご紹介

「そうなんですね」
「まじリスペクトです」

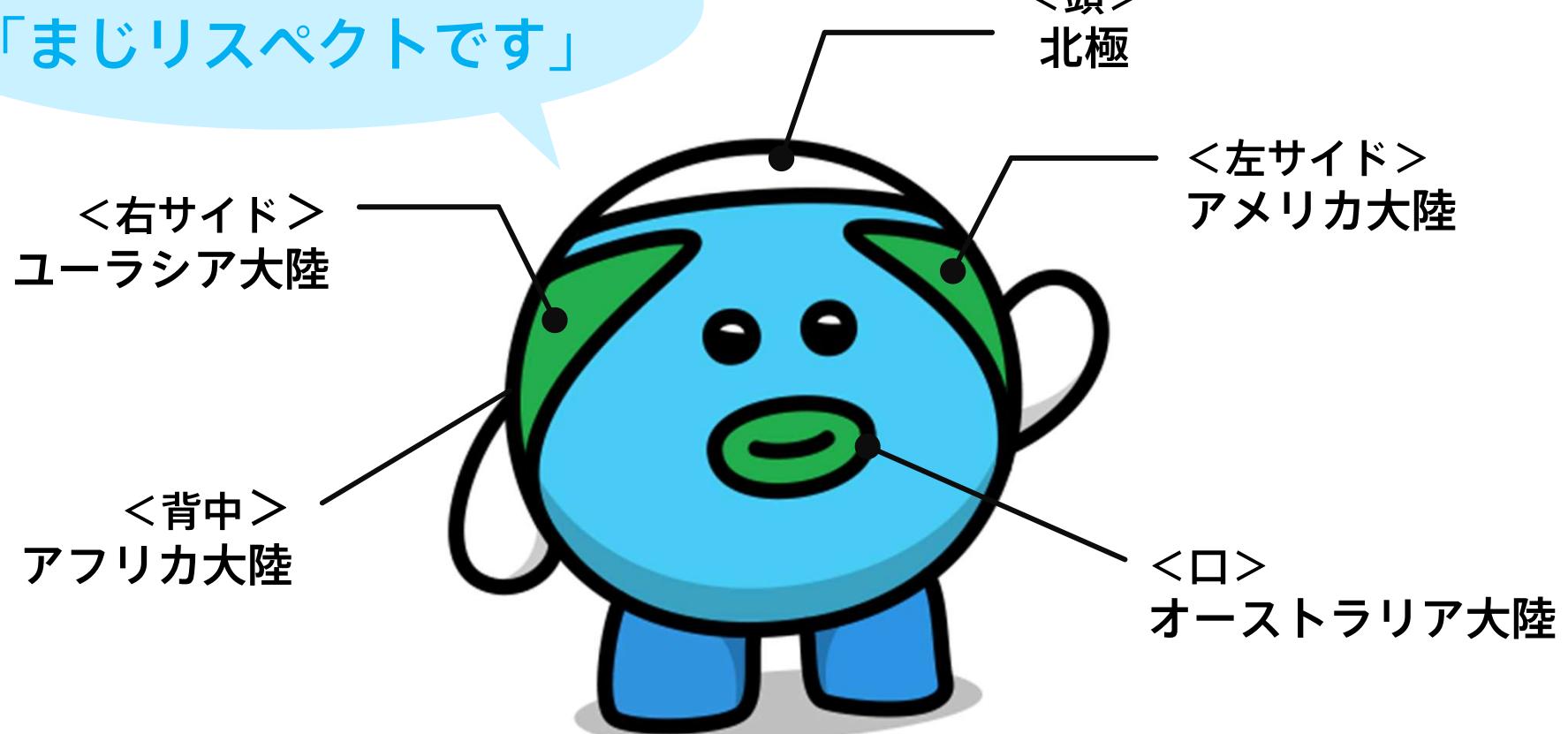
<右サイド>
ユーラシア大陸

<背中>
アフリカ大陸

<頭>
北極

<左サイド>
アメリカ大陸

<口>
オーストラリア大陸



数字で見るスマートニュース



アプリダウンロード数^{*1}



月間訪問者数^{*2}

3500万以上

約1000万人



1日あたりの滞在時間^{*2}

※Android利用者

約16分/人

Source:

*1 App Annie, September 2018

*2 Nielsen Mobile NetView 2018年9月時点 (スマートニュース - 朝1分のニュースが人生を変える、他主要ニュースアプリのアプリケーションレベル)

スピーカー紹介



宮田 善孝
Miyata Yoshitaka

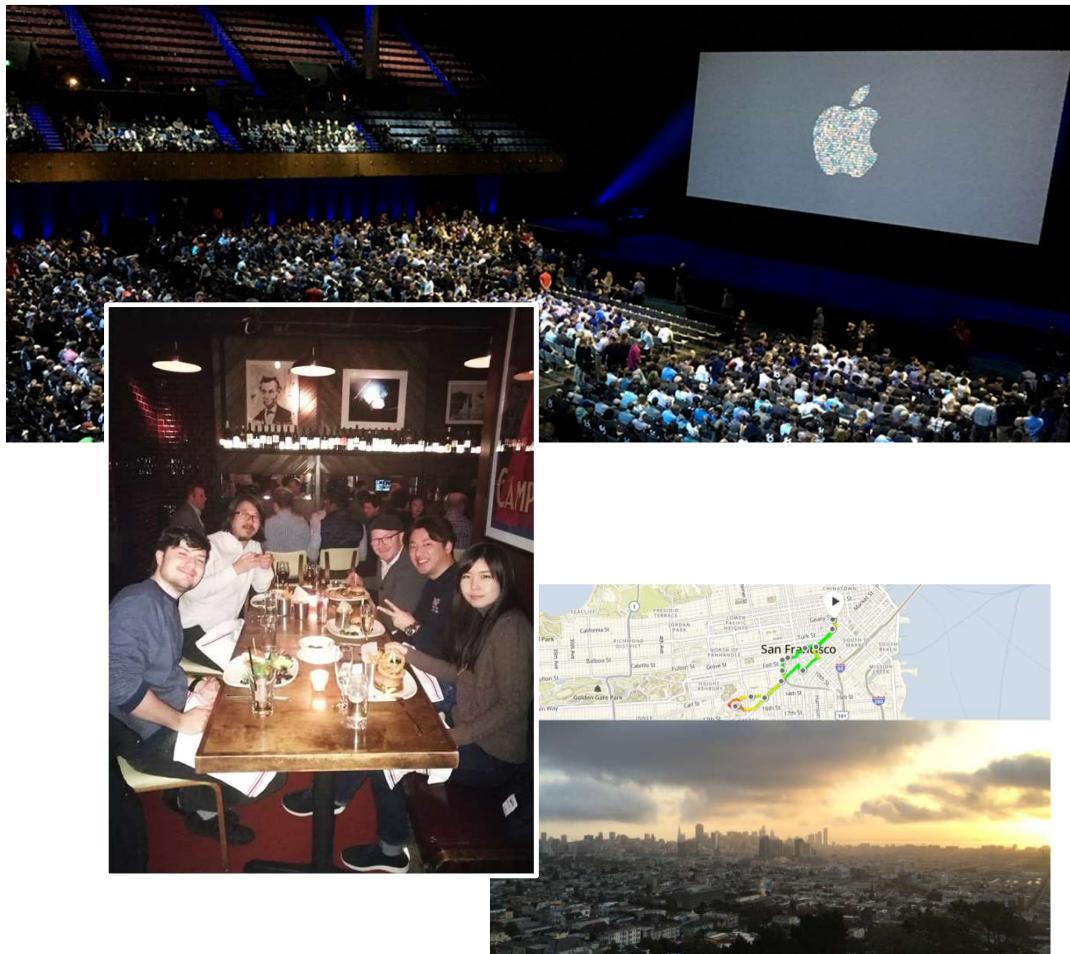
職歴

- 現在スマートニュースにおいてプロダクトマネージャーとして従事。それ以前は全社レベルのKPI設計、経営戦略、事業戦略に資する分析を実施
- 現職に至る以前は、米系戦略コンサルティングファーム2社にて経営/事業戦略、Pre-M&A、PMI、マーケティング戦略、BPRなど幅広いコンサルティング業務を経験
- また大手ITベンチャーにて、SNSや各種コンテンツビジネスに従事。また海外展開、海外オフィスとの連携PJTなどにも従事

学歴・資格

- 京都大学法学部 卒業
- 米国公認会計士（ワシントン州）
- Certificate of Business Analytics Specialization
Wharton School, the University of Pennsylvania
- Certificate Program of Measuring and Improving Business Performance
Johnson School of Management, Cornell University

自主渡航とは



半年に1回1週間、海外のカンファレンスや学会への自主的な参加や、業務上の用事がなくても、USオフィスでリモート作業したりできる制度

- WWDCやGoogle I/Oなど有名テックイベントから、機械学習のカンファレンスや、シリコンバレー・アジアのスタートアップ視察などなどに活用



その際の航空券費、交通費、宿泊費、通信費、海外渡航保険、カンファレンス・学会等参加費を会社で負担（航空券費、宿泊費、カンファレンス・学会等参加費に関しては上限額あり）

北米・アジア・欧州のプロダクトマネジメント



Turing Fest
@Edinburgh



Section II

北米・アジア・欧州の
プロダクトマネジメントの事例



SmartNews

自主渡航を活用して参加した講義・カンファレンス

北米



**GENERAL
ASSEMBLY**

アジア



**Product
Management
Festival**

欧州

TURING FEST

北米



**GENERAL
ASSEMBLY**

アジア



Product
Management
Festival

欧州

TURING FEST

北米におけるプロダクトマネジメント：

Product Management Bootcamp by General Assembly

講義の内容

プロダクト
マネジメントとは

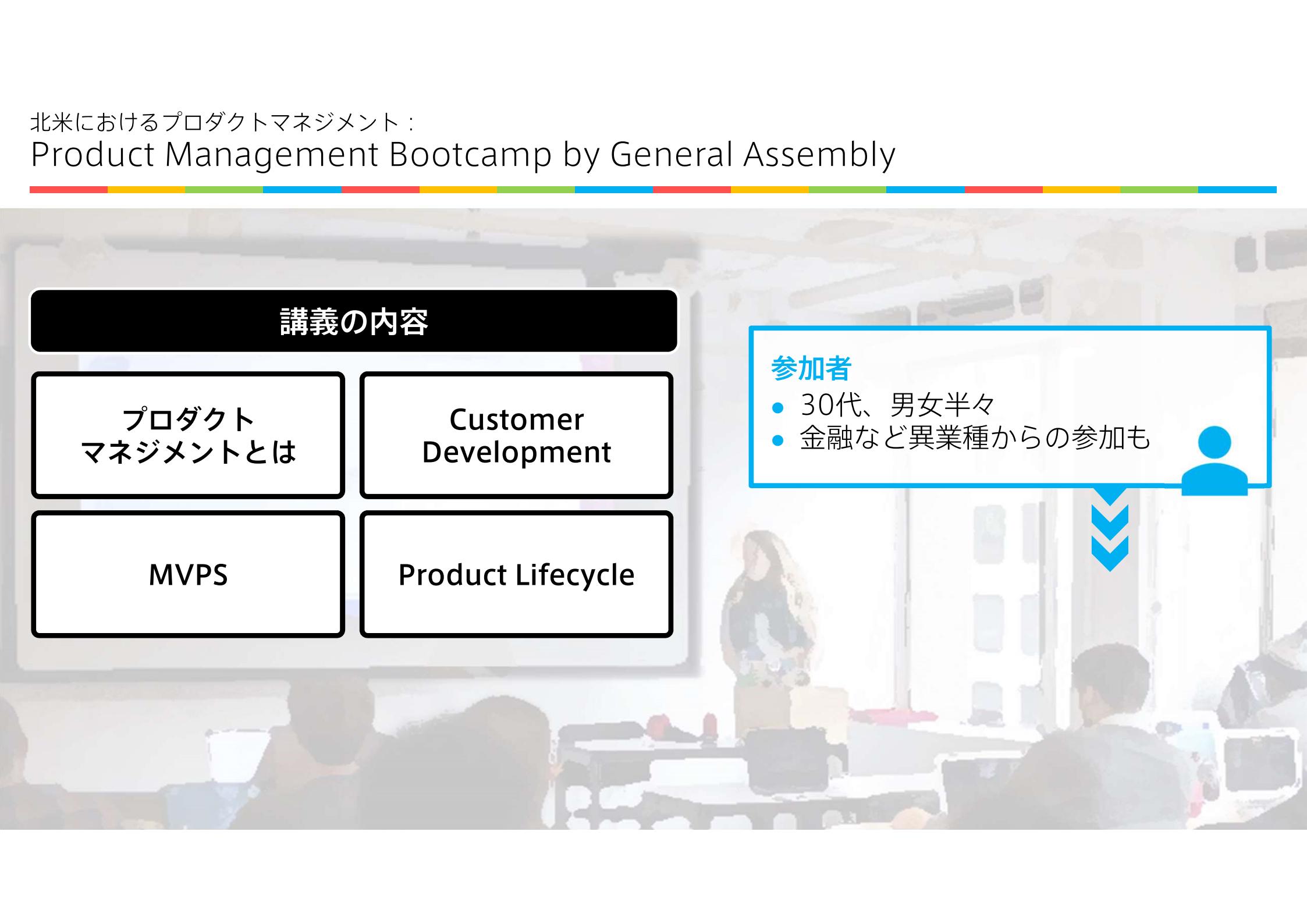
Customer
Development

MVPS

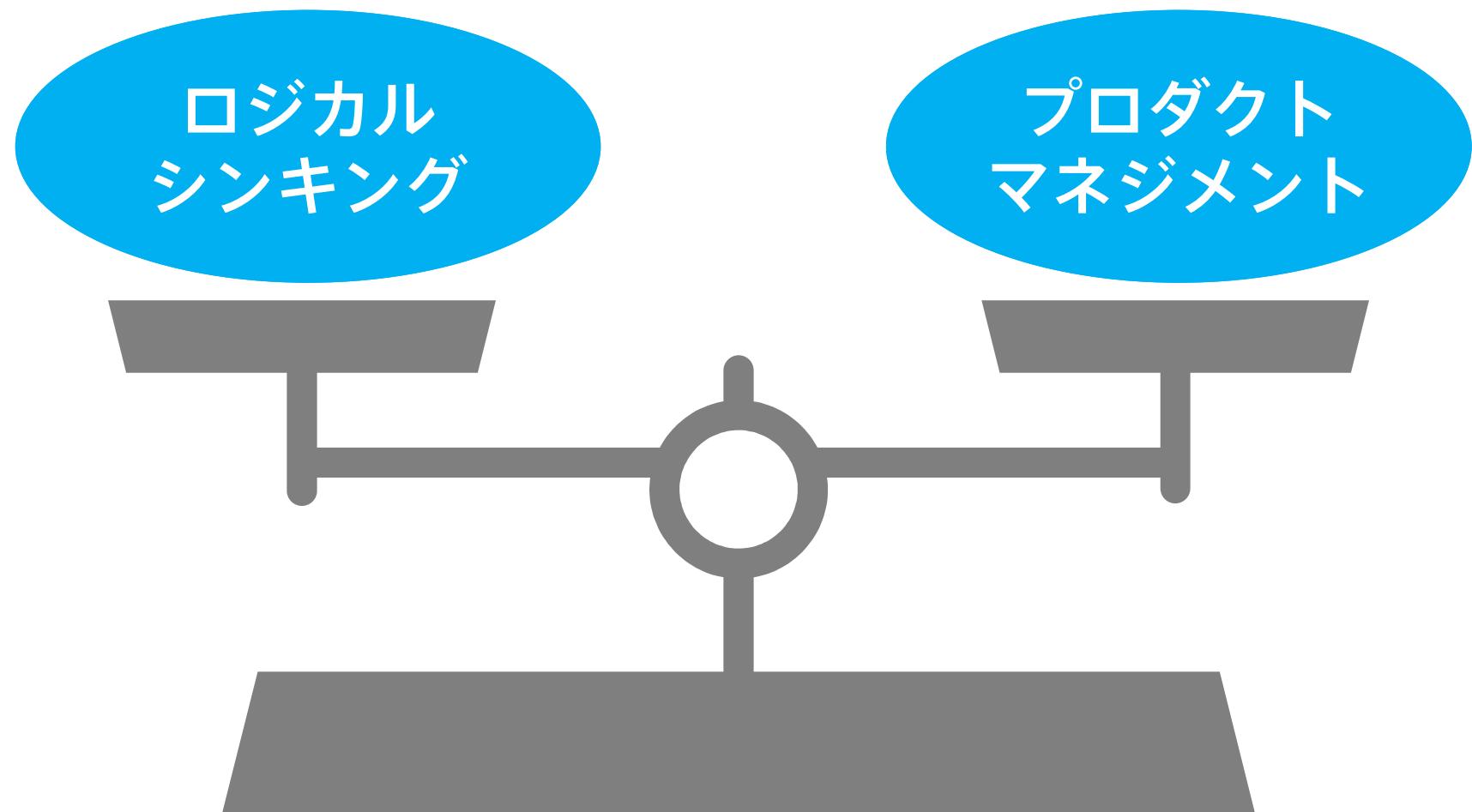
Product Lifecycle

参加者

- 30代、男女半々
- 金融など異業種からの参加も



北米におけるプロダクトマネジメントの普及度



北米



GENERAL
ASSEMBLY

アジア



Product
Management
Festival

欧州

TURING FEST

アジアにおけるプロダクトマネジメント： Product Management Festival

参加者

- 5～600名程度で、プロダクトマネージャーとして働いてる人がほとんど
- 1/3がシンガポール在居で、その他はアジア圏から参加



カンファレンスの概要

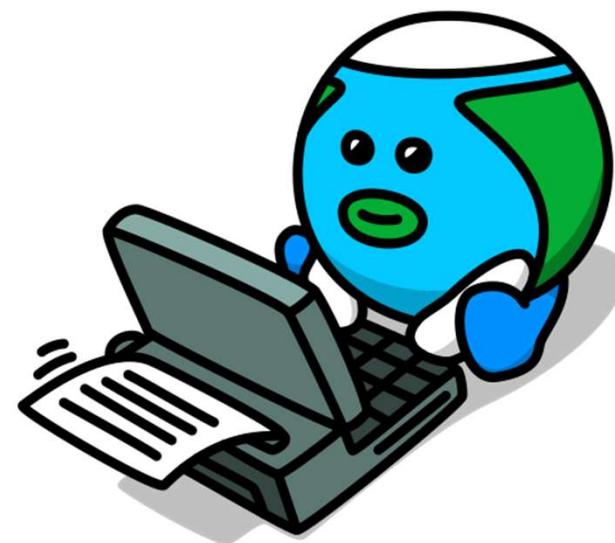
- 登壇者はGAFAなどのプロダクトマネージャーと、Grabなど東南アジアのプロダクトマネージャーがそれぞれ半分ずつ
- プロダクトマネジメント自体をコアに据え、プロダクトマネジメントの思想や組織設計、個々のプロダクトの紹介などがメイン

プロダクトマネージャーの責任と役割



プロダクトマネージャー

VS



シニアリーダー

Source: Traits of Product Leadership – how to be a leader, even when you're not a manager

北米



**GENERAL
ASSEMBLY**

アジア



Product
Management
Festival

欧洲

TURING FEST

欧洲におけるプロダクトマネジメント：

Turing Fest

参加者

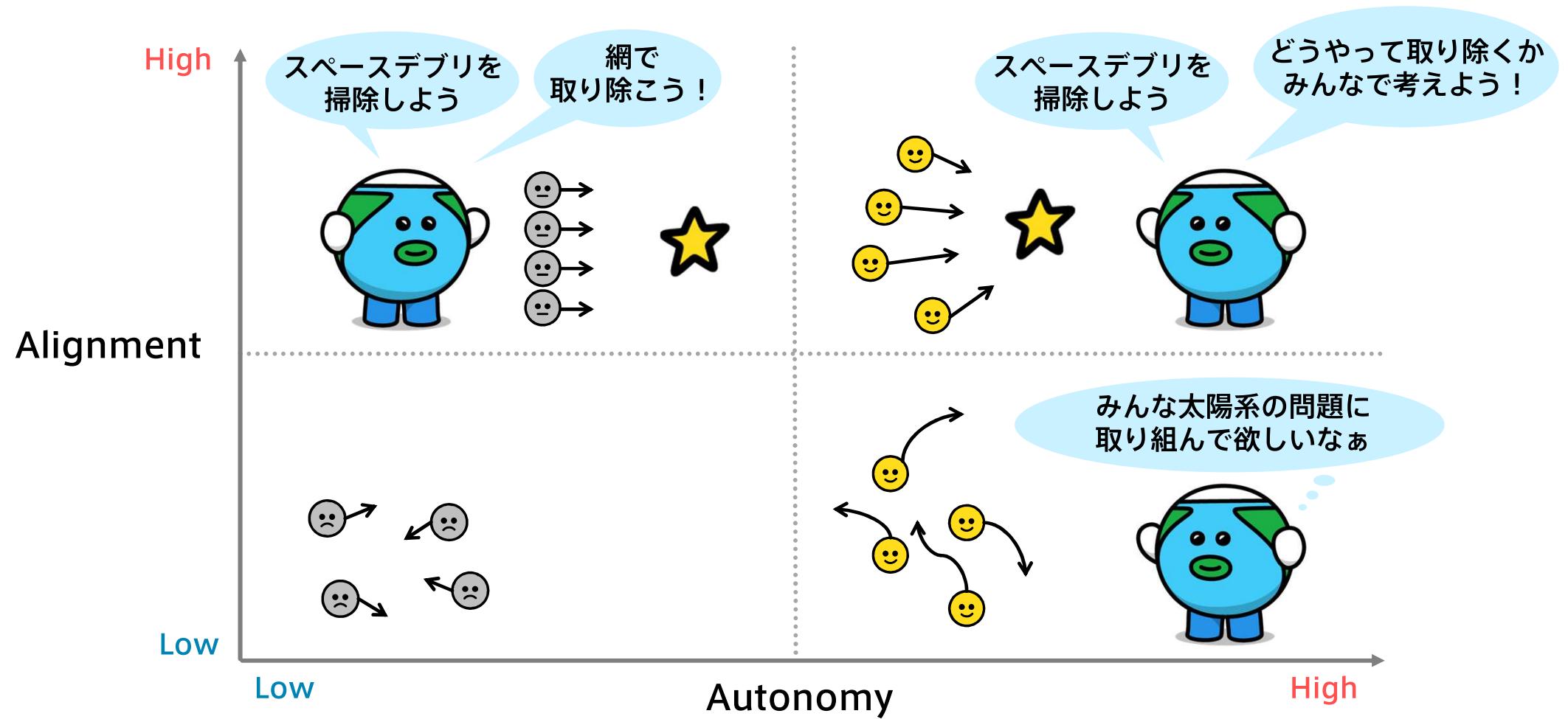
- 約2000人
- ほぼヨーロッパ圏の人（アジア人はほぼ皆無）
- 男女比は55:45くらい
- 年齢はやや男性の方が高く、40前後くらい



カンファレンスの概要

- プロダクトマネジメントを中心に据えつつ、開発・マーケティング・グロース・文化・組織など他テーマ/ファンクションとのつながりを意識した内容が多かった

Autonomy × Alignment



Source: Martin Eriksson — You Are All Product Managers (Turing Fest 2018)
Spotify engineering culture (part 1)

プロダクトマネジメントの事例：まとめ

北米



GENERAL ASSEMBLY



ベーシックな
プロダクトマネジメント

アジア



Product Management Festival



プロダクトマネージャーの
責任と役割

欧州

TURING FEST



**Autonomy
×
Alignment**

Section III

スマートニュースの実践



SmartNews

スマートニュースのミッション

MISSION

世界中の良質な情報を
必要な人に送り届ける

Delivering the world's quality information to
the people who need it.



スマートニュースの事業モデル



スマートニュースのプロジェクト紹介

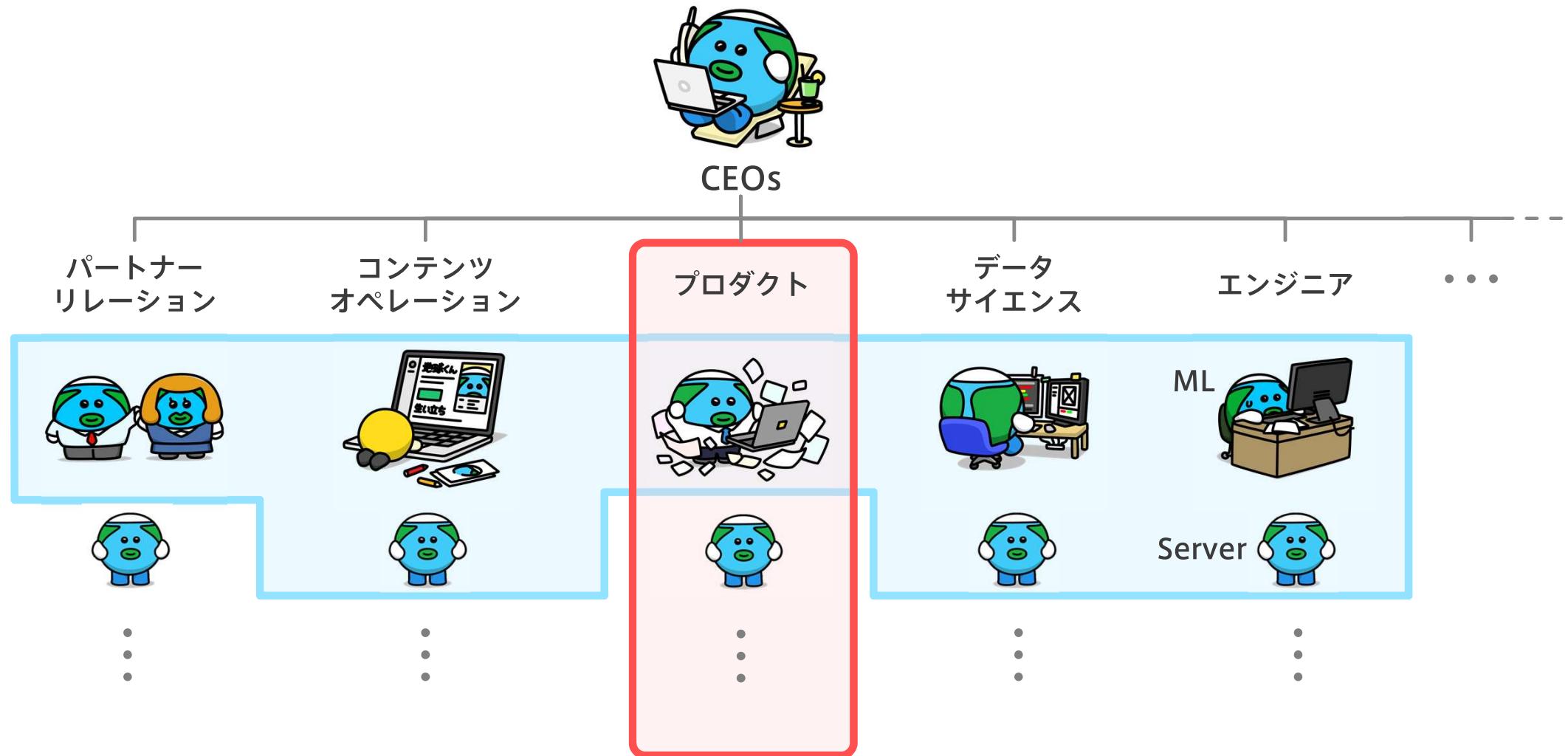


トップチャンネルの下部における
「あなたにおすすめ」という枠をどのように
進化させていくか



どの媒体社からどんなコンテンツを提供して頂き、
どうやってユーザーに届けていくべきか

スマートニュースにおける組織設計



スマートニュースにおけるオーナーシップ



パートナーリレーション



コンテンツオペレーション



プロダクトマネージャー



データサイエンス



エンジニア

スマートニュースにおけるプロダクトマネージャーの責務と権限

責任

命令



プロダクトマネージャー

スマートニュースにおけるプロダクトマネージャーの責務



ビジョンに
立ち返る

各チームメンバー
が連携する

プロダクトに
落とし込む



最終的にユーザーに届ける

ミッションに基づいたAlignment



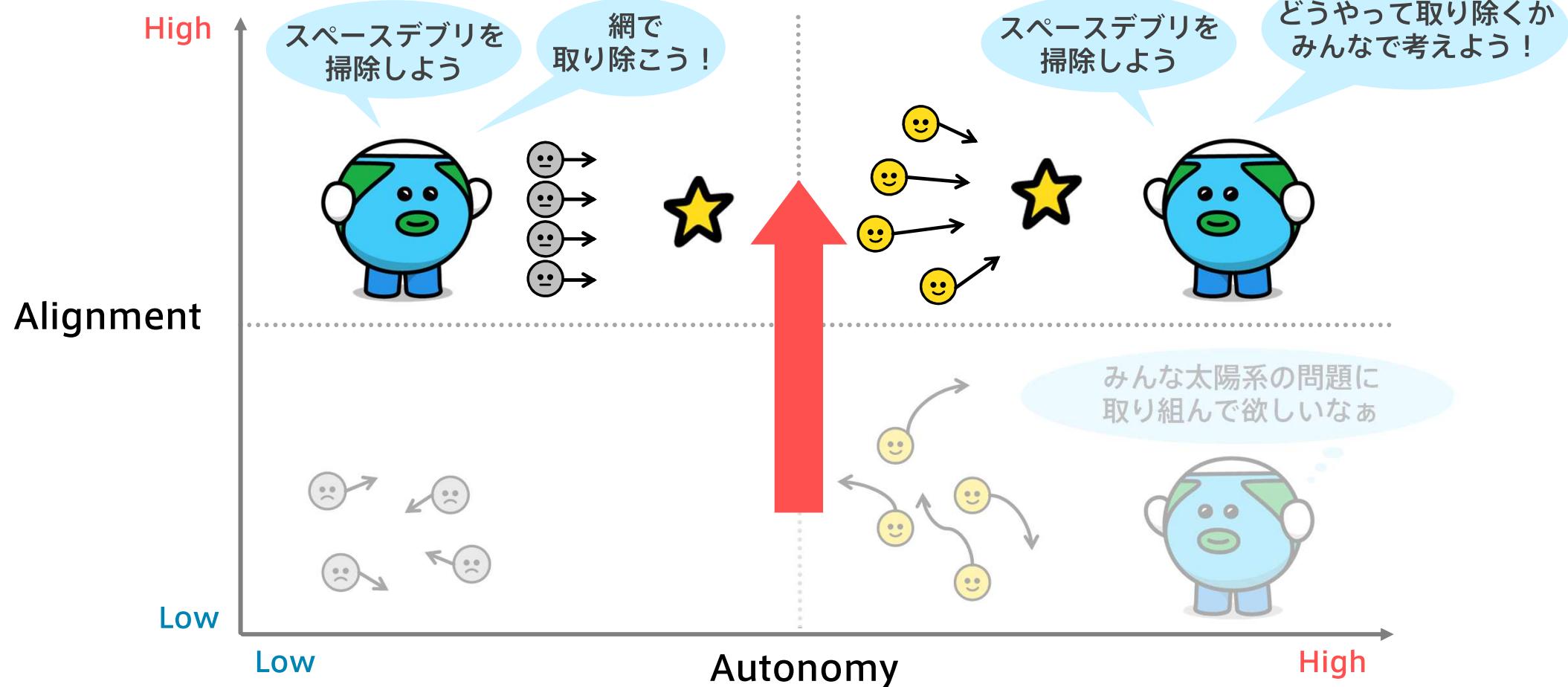
パーソナライズド ディスカバリー

||

長期的な視野にたち、ユーザーにあわせた
「発見」

(興味を深掘りしつつも、その興味 자체を広げていくことを主眼としています)

ミッションに基づいたAlignmentの効果

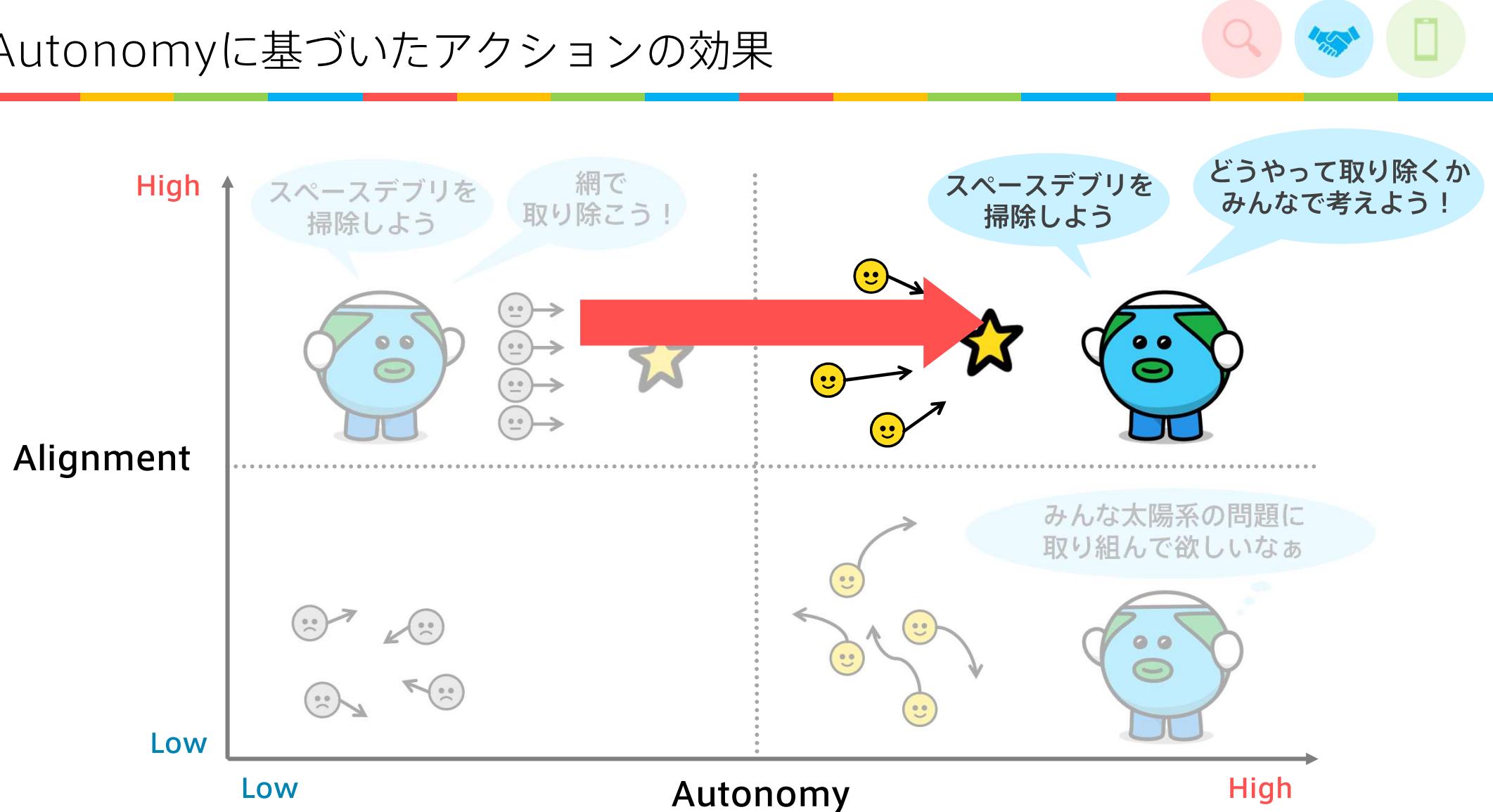


Source: Martin Eriksson — You Are All Product Managers (Turing Fest 2018)
Spotify engineering culture (part 1)

Autonomyに基づいたアクション

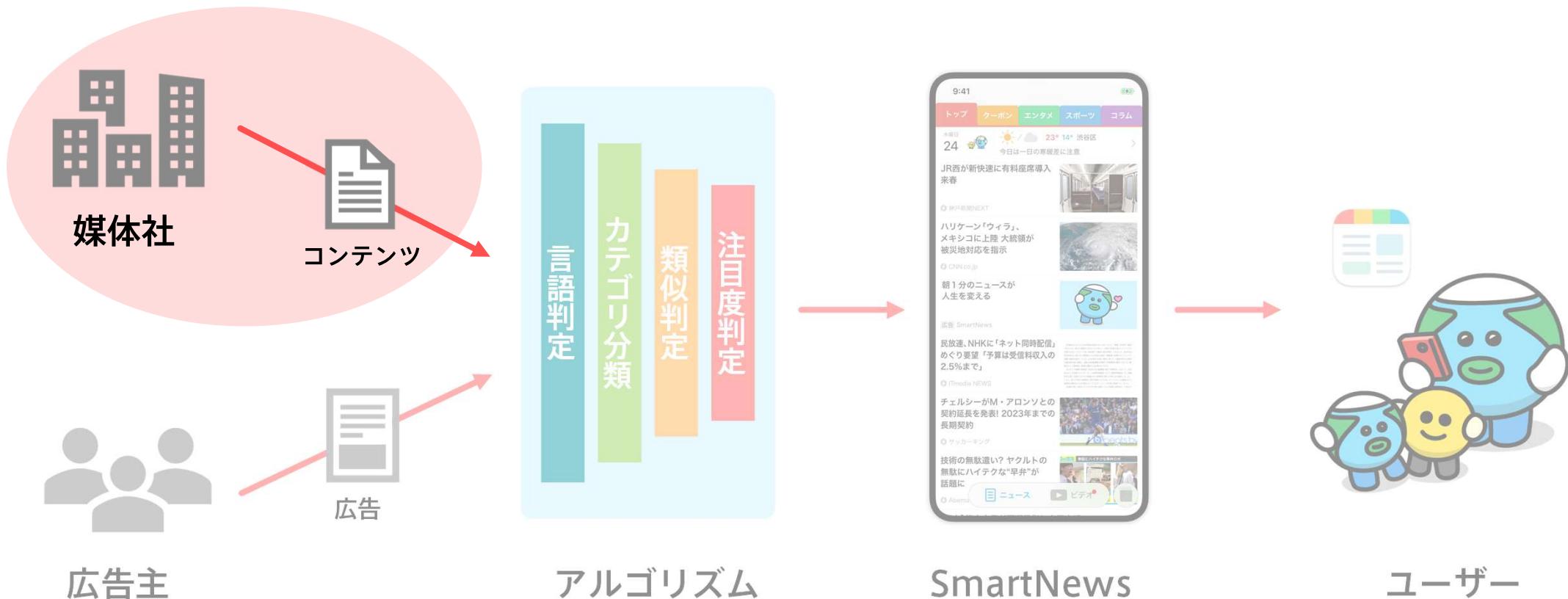


Autonomyに基づいたアクションの効果



Source: Martin Eriksson — You Are All Product Managers (Turing Fest 2018)
Spotify engineering culture (part 1)

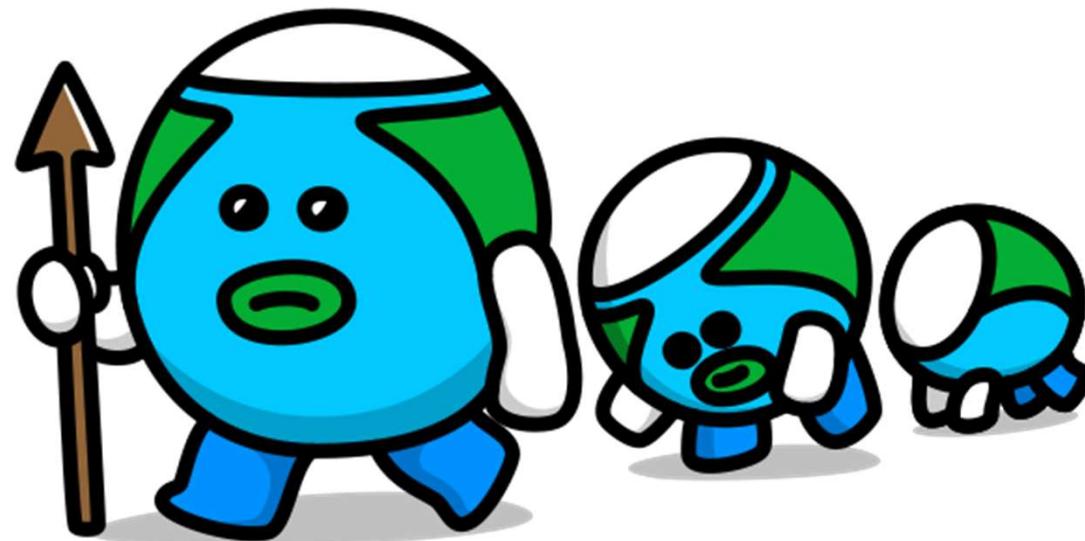
短期の目標とスコープ



中長期の目標とスコープ[°]



更なる展開に・・・



乞うご期待ください！

他にも・・・

プロダクト
マネージメントに
ダイバーシティは
必要なのか

グローバライズと
ローカライズとは？

どのように
プロダクトをクローズ
するか

問題解決と
デザイン思考を
どう使うのか

プロダクト開発を
どうスケールさせて
いくのか

リリース後、
どのようにクローズ
する判断をすべきか

プロダクト戦略をど
のようなフレームワーク
で議論すべきか

コンテンツとUIの
しかるべき関係は？

クロスファンクション
チームの中における
意思決定は？

プロダクト関連の
情報共有は？



PM Books Exhibition @ SmartNews 2F



ぜひ遊びに
きてください！

